

ナレーション原稿（日）

No	SCENE	IMAGE	COMMENT
1		 <p>VRがつなぐ地域の未来 隠岐野球教室プロジェクト</p>	<p>Ara 「離島で野球をしている子どもたちに、本物に近い経験をさせたい」 「環境的ビハインドで挑戦できない問題を解決したい」 そういう強い気持ちを、隠岐の方々が持っていました。</p>
2	VRゴーグル内の実際の映像	 <p>隠岐の島町 教育委員会 社会教育課 前田 隼人</p>  <p>隠岐高校硬式野球部 監督 渡部 謙</p>	<p>Maeda この島で育つ中で 自己肯定感が弱いという課題があったり、 離島のハンデを理由に、自分たちには出来ないんだろうなと諦めている部分も大きいと感じていました。</p> <p>Watanabe 実際 試合経験だったり いろんなピッチャーと数多く対戦するということが 環境的に難しい部分はありました。</p> <p>今回V-BALLER導入の話をいただきましたが、 実在するプロのピッチャーの投球を体感できることで 自分たちの技術だったりだとか 野球に対する バッティングに対する考え方だとか そういった考えが少しでも広がると思いなと思ったことが導入した理由です。</p>
3		 <p>株式会社NTTデータ アセットベースドサービス推進室 SDDX担当 荒 智子</p>	<p>Ara 今回は島根県の隠岐の島という離島で「地方創生×スポーツ」というプロジェクトの一環で我々NTTデータも参加しています。 やっぱり離島という事もあり 野球部員もすごく限られているという環境なので いろいろな球種とか球速は体験できません。</p> <p>そこで我々のツール（V-BALLER）を使う事で 経験値の向上に寄与できないかというところと 加えて 東京からリモートで元プロ野球の選手がVRを使って 選手のコンディションデータをもとに指導するという 新しい形式での野球教室を 初めて協働で取り組んでみたという形になってます</p>

ナレーション原稿（日）

No	SCENE	IMAGE	COMMENT
4			<p>Student VRの世界がリアルで 野球選手になった気分になりました</p> <p>Student 現実と比べても、球速はあまり変わらない感覚でした</p> <p>Student リアルな練習がない時でも ちょっとしたスペースがあれば練習できるので そういう時に使ってみたいと思いました</p>
5			<p>Maeda 子どもたちは、これからの時代を作っていく宝だと思うので 縁を繋ぐことによって 諦めていたことも可能性は無限大だということを感じて欲しいなと。 自分の中で線を引きことなく なんでも出来るような環境を整えていきたいと思えますね</p>
6		 <p>VRがつなぐ地域の未来 隠岐野球教室プロジェクト</p>	<p>Ara 島根県の隠岐の島という場所からプロジェクトが始まったんですけども やっぱり 来てみてわかる環境的課題というのがすごくあるなと感じるのと、 一方でV-BALLERのように それを使うからこそ埋められるという事が 今回のプロジェクトを通じてすごく実感できたので ここで終わりにせず 環境的ビハインドで何か課題を感じてしまっている もしくは先に進めてないところがあれば そういったチームの底上げではないですけど お手伝いするという取り組みを 日本に限らず世界でも 行いたいという信念があります</p>